# WORK STYLES 202X

okamura

# Change in the workspace

# 働き方を変えるには、場を変えることから。

働き方はどこまで変わったでしょうか。

いつでもどこでも働けるという考え方は、確実に世の中へ浸透してきています。 しかし、まだまだ充分に機能しているとは言いきれないのではないでしょうか。 その実現のために必要なこと、それは働くための環境づくり。 時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実現するための 多様性に富んだ空間づくりが必要だと私たちオカムラは考えます。

# Contents

- 3 STYLES
- 5 VISION
- 7 MAKING
- 9 BUSHITSU
- 13 アジャイルエリア
- 15 パークワークエリア
- 17 ベース
- 21 集中エリア
- 25 カフェエリア
- 29 ミーティングエリア
- 33 共創エリア
- 37 ワークラウンジ
- 38 収納・共用エリア
- 39 ホーム
- 41 アラウンドプレイス
- 43 COORDINATE



# STYLES

# さまざまなワークスタイル

# あなたの働き方は どんなスタイルですか?

かつて、オフィスレイアウトは固定されており、与えら れた自席で業務をすることが当たり前でした。

その後、モバイルの普及により、オフィス内の自由な席 で仕事を行うフリーアドレスが出現。

そして現在、より多様な空間を状況に応じて使い分け る ABW (Activity Based Working) という考え方が 世界的に広まってきています。

### Around Place

アラウンドプレイスとはワーカーそれぞれの本拠地(セン ターオフィス)と自宅(ホーム)以外の働く場の総称です。 オフィスに近いものとしては、会社が契約するシェアオ フィス。自宅に近いものとしてはマンションの共用部な どの働く場などが該当します。

また、コワーキングスペース、空港や駅の一角、カフェ、 図書館など、幅広い働く場もここに含まれます。

# 固定席

自分の席で働く

# フリーアドレス

オフィスの中で自由な席で働く



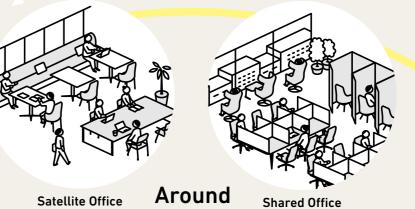
一人ひとりが決められた席で仕事をするスタ イルのこと。在席率の高い職種に向いている オフィスの作り方です。

ワーカーの固定席を作らずにオフィス内の自 由な席で仕事を行えるスタイルのこと。席を 固定しないことにより、オフィスの面積を抑え コスト削減、コミュニケーションの活性化や ペーパーレス化が期待できます。



# ABW (Activity Based Working)

最適な場所を選んで働く







Coworking Space



Station / Airport

Home

オフィスの中でも外でも仕事の内容や目的に合わせて働く場所を選択するスタイルのこと。 オフィス内に限らず、自宅や、カフェ、移動中など、仕事に最適な環境を選ぶことができます。

# VISION

これからの働き方、キーワードは "自律性"と"一体感"だと オカムラは考えます。

ABWの導入により、自律的にオフィス内外の場所を 選択して働くことができるようになると、個人のパ フォーマンスは向上します。

一方で気になるのは個人で完結しない仕事における パフォーマンスが上がるかどうか。

オカムラは、チームの拠り所となる「BUSHITSU(部室) | を設けることにより、メンバーの一体感を高めてチー ムのパフォーマンスを向上できると考えます。

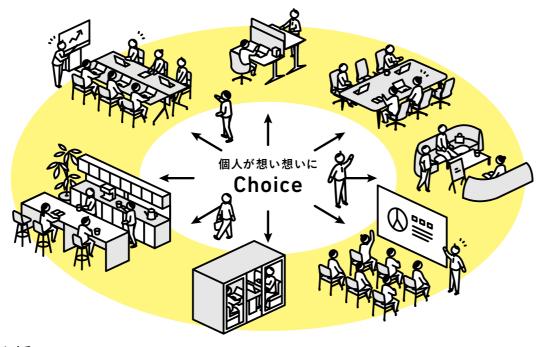
会議室よりもさらに活気を生み出し、居心地の良さも 感じさせてくれるBUSHITSUがあれば、個人でもチー ムでもイノベーティブな成果を生み出す、最強の働き方 ができるでしょう。

### 働き方改革で目指しているものは?



出典: 第6回 働き方改革 EXPO (2019) 来場者アンケート

# 一人ひとりが自律性を持って働く



自分が行う仕事・状況によって、

働く場所を自由に選ぶ

仕事の内容や目的、気分に合わせて作業する場所を選択します。

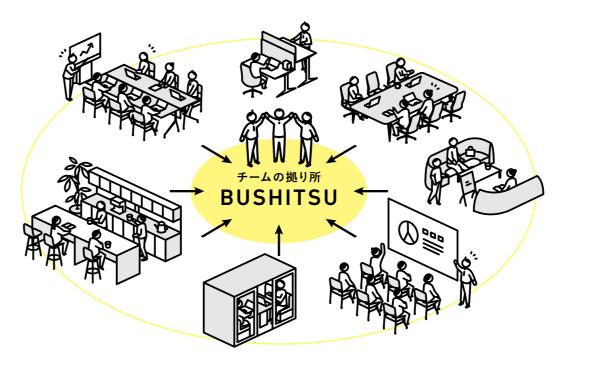
そうすることで個人の持つパフォーマンスは高められます。

ABWを取り入れたことによる 「効率的な業務遂行」への効果は?



出典:座席・空間利用に関する調査報告(2018年オカムラ調べ)

# チームの一体感を高めて働く



# 働くの行為



働くときの行為を16個に分類しました。働く場をつく る際に、これらの行為が行われる場を設けることが重 要です。

# チームがうまく機能するため、 一体感を高める拠り所に集まる。

いつでもどこでも働ける ABW では、その時々でメンバーが集まり 一体感を持ってチームのパフォーマンスを高めていく必要があります。

# BUSHITSU(部室)があることによるメリットは?



出典: 2019年オカムラ調べ

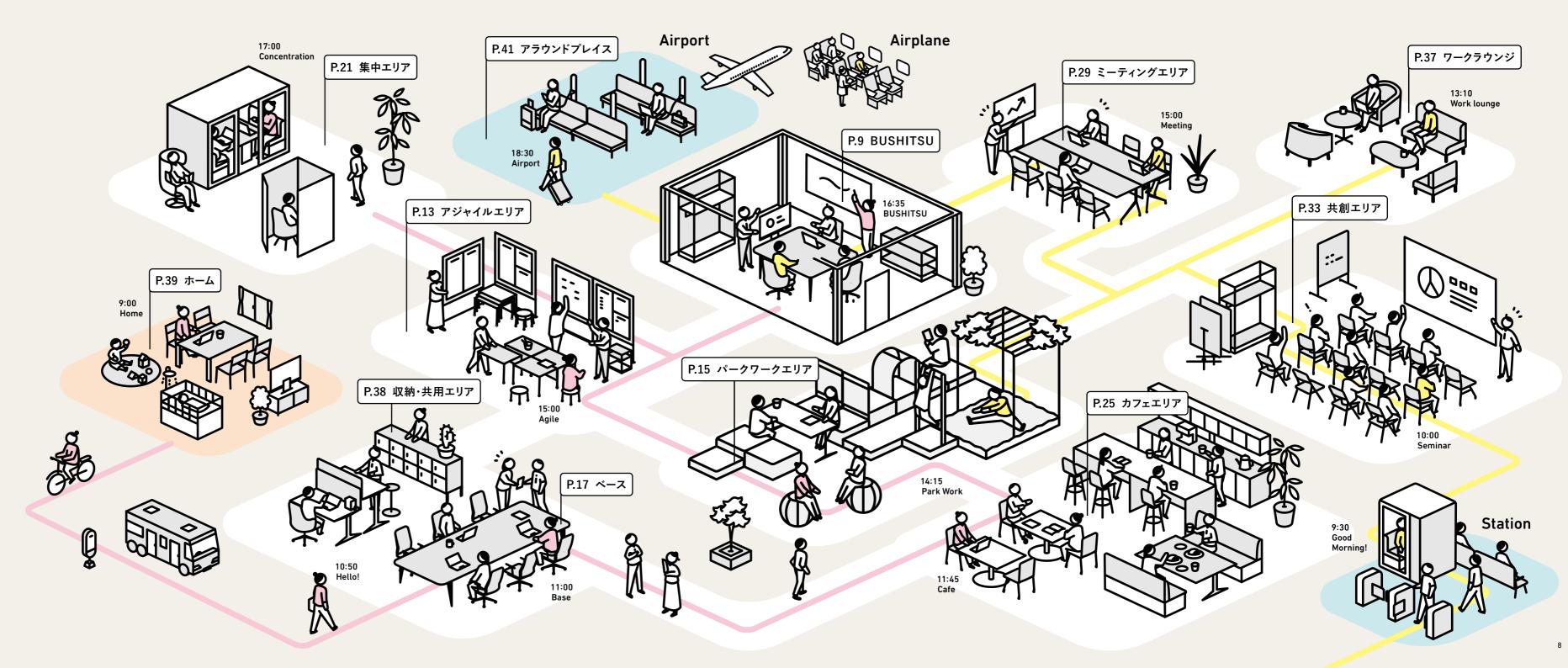
# MAKING

# 高いパフォーマンスを 実現するためのオフィス空間

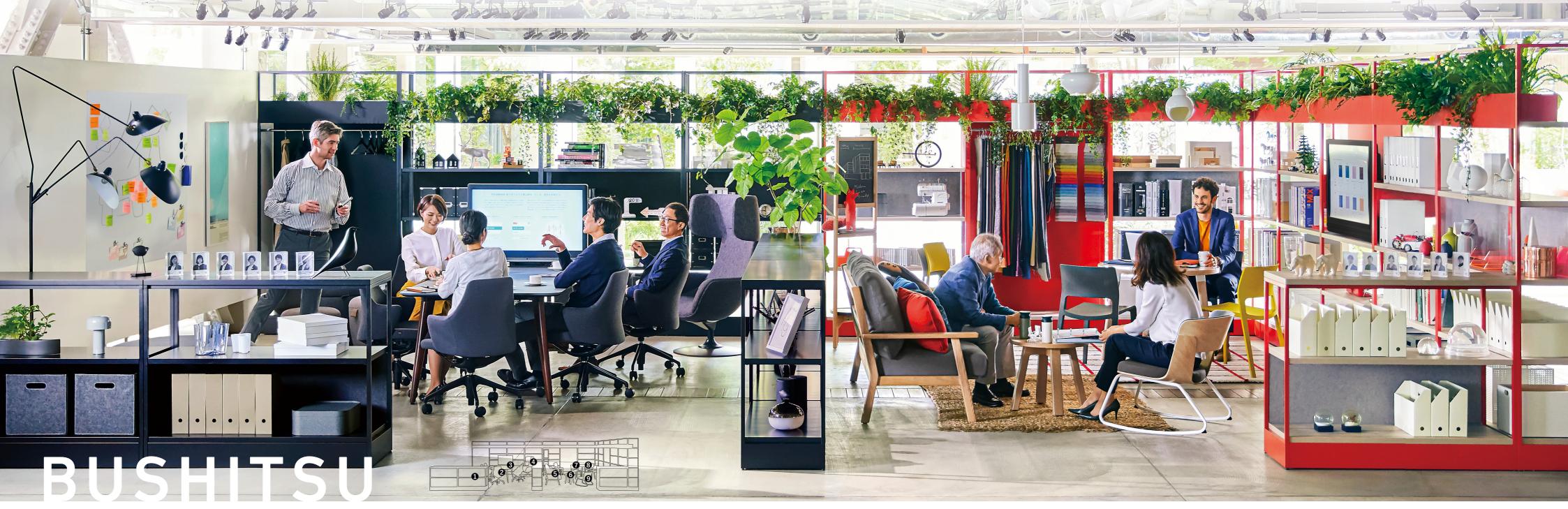
いま、ワーカーの置かれる状況は多様になり、仕事の 内容も多様になっています。そのような中で"働く環 境"のつくり方に唯一の答えはありません。

カフェでは会話を楽しむ人も、読書をする人も、集中して仕事をする人もいます。同じように、働く場所をつくる時にも、同僚と一緒にアイデアを練ったり、一人で作業をしたりと多様な行為を受け入れられるような環境を整えることが大切です。

一つの場所にこだわらない、一つの行為に限らない、多様な働き方を実践してみてはいかがでしょうか。 オカムラでは、ワーカーの活動をサポートするための 多様な空間をご提案します。



7



1. Lives Shelf (ライブス シェルフ) 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア) 3. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)

# BUSHITSU

チームの拠り所

チームの一体感を高める"BUSHITSU"は、

チームのメンバーが気軽に立ち寄り、交流できる場です。 時間と場所の制約がなく、柔軟に働ける時代だからこそ、

ひらめく

- チームの拠点となる場所は必要不可欠。
- チームの目指す姿に合わせて、オリジナリティ溢れる "BUSHITSU"を作ることで、

より強い「仲間」意識が育まれます。









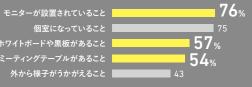




### 部室はなんのために使う?

72% 部門内の打ち合わせ 個人の集中作業 書類や荷物を置くため 共同作業 24

### 部室に欠かせないものは?



部室は、目指すチームのあり方によって「オープン/セミクローズ/クローズ」、「コミュニケーション重視/作業効率重視」で 特徴づけられる6つのタイプに分類できます。一人ひとりの働き方が柔軟になる中、チーム力を高めるうえで、 部室のようにメンバーが直接顔を合わせて働く場に大きな価値があると考えられます。

# オープン

### TYPE 1

TYPE 2

GYM

る雰囲気

周囲から意見をもらいつ

つ、作業する個人どうし

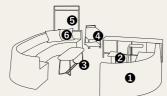
が、お互いに刺激し合え

コミュニケーション重

# **PARK**

チームだけでなく、まわり からも気軽に意見をもらえ るような開放的な雰囲気





- 1.2. Alt Piazza (アルトピアッツァ) 3. Lives Café Table (ライブス カフェテーブル)
- 4.5. GO-DO (ゴド)

1. Glicina (グリシーナ)

4.5. GO-DO (ゴド)

6. モニタースタンド

2. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル)

3. Lives Entry Chair (ライブス エントリーチェア)

6. クッション

# セミクローズ

# TYPE 3

TYPE 4

**GARAGE** 

一緒に手を動かして意見

をやり取りできる、ワクワ

クする雰囲気

# **MARKET**

クイックに意見交換でき る、アイデアを展開できる



- 1. Lives Shelf (ライブス シェルフ)
- 2. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル) 3. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)
- 4. CREBO (クレボ)

1. muffle (マッフル)

3. CREBO (クレボ)

5. Swift (スイフト)

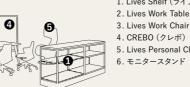
7. GO-DO (ゴド)

6. ディスプレイユニット

2. Acti@fit (アクティアフィット)

4. Lives Entry Chair (ライブス エントリーチェア)

5. Lives Personal Chair (ライプス パーソナルチェア)



# TYPE 6

クローズ

**TYPE 5** 

**NEST** 

秘密基地のように、斬新

なアイデアを育てていく

遊び心に富んだ雰囲気

# CAVE

目標に向けて一丸となる ために、外部と意図的に 遮断された雰囲気



1. PROSSIMO (プロッシモ) 間仕切り

7. BRIO (ブリオ)

8. CREBO (クレボ)

9. ディスプレイユニット

2~6. SharedSpace (シェアードスペース)



- 1. PROSSIMO (プロッシモ) 間仕切り
- 2. Bresta (ブレスタ)
- 3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
- 4. Rectline (レクトライン)
- 5. Lives Work Table (ライブスワークテーブル)
- 6. Finora (フィノラ) 7. CREBO (クレボ)



情報共有にホワイトボードや黒板を。長期のプロジェクトで必要な情 報は書いたまま残しておけます。



個人での集中作業や、同僚との共同作業もできるようにミーティングテー ブルがあると便利です。



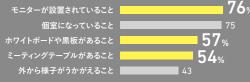
し合いを始められます。



モニターがあれば直ぐにチームでの話 チームの収納をBUSHITSU内に置くこ とで、より共有資料や機材を見つけやす くなります。

12

部下、上司への報告作業



# アジャイルエリア

チーム作業を加速させる

チーム作業のスピードを高めてより成果の高いものを アウトプットをする場です。

チームでアイデアを磨き、具現化し、試すサイクルを 素早く回すことでより質の高い成果を生み出すことができます。 行う作業に合わせて使いやすく家具のレイアウトを 変化させることでより効率的に作業ができます。





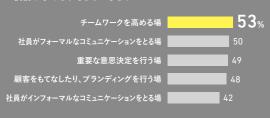




### オフィスでのチームワークの必要性

ワーカーにニューノーマルにおいてオフィスはどのような役割 が求められるようになるか聞いたところ、「チームワークを高め る場」と答えた人がトップになりました。次いで「社員がフォー マルなコミュニケーションをとる場」となっており、複数人数で の行為の受け皿としての役割が重要になることがわかります。

ニューノーマルにおいてオフィスはどのような場としての 役割が求められるようになるか









働き方に合わせて、 働く場を「選ぶ」のではなく、働く場を「創る」。

効率的に創造的な成果を生み出すためには、

プロジェクトのフェーズに合わせて

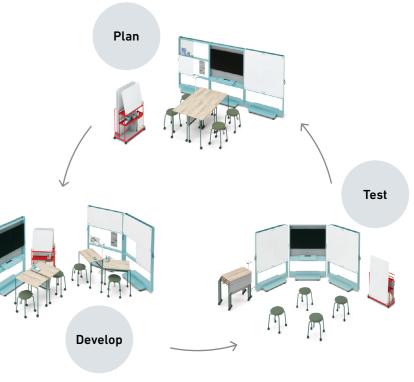
テーブルやチェア、ホワイトボードなどを自由に動かせることが重要です。

一人ひとりのアイデアをぶつけ合うことで進化・強化させる「Plan」、

実際にアイデアを具現化する「Develop」、

みんなで試す「Test」で問題点を洗い出し、解決策を得る。 そのプロセスをすばやく回すことで、最高のアウトプットを

最速で実現する最強のチームが誕生するのです。



# チームを加速させる3つの要素

最高のアウトプットを最速で実現するチームをつくるためには、

作業内容や参加人数に合わせて環境を最適化すること「Flexible」、思いついたアイデアをいち早く共有すること「Quick」、 議論のプロセスを「見える化」して認識のズレを防ぐこと「Stock」が重要です。

### Flexible



目的に合わせて自由自在に移動

アイデアを瞬時に表出



ミーティングの内容をそのままストック

# パークワークエリア

# 健康的に働く

PARK WORKは「公園づくり」を意味します。 多彩なアイテムの組み合わせによって 健康を保持・増進する7つの行動を誘発する オリジナルの公園が完成します。 「健康経営オフィス」を実現するには 自分らしく健康的にふるまえる 公園のような場所が必要ではないでしょうか。









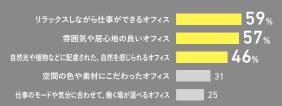




### 健康的に働くためには?

健康的に働くためには、半数以上のワーカーが「リラックスしながら仕事ができる」「雰囲気や居心地のよい」「自然を感じられる」オフィスで働きたいと回答しています。

「健康的」に働くために、どのような場で働きたいですか。



出典:WURKIWILL RESEARCH ISS

# 1. PARK WORK (パークワーク) 2. Lives Personal Table (ライブスパーソナルテーブル) 3. Bresta (ブレスタ)

# 「健康経営オフィス」とは

健康経営オフィスとは、健康を保持・増進する7つの行動を誘発することで、働く人の心身の調和と活力の向上を図り、一人ひとりがパフォーマンスを最大限に発揮できる場のことを言います。従業員の意思や努力だけに任せるのではなく、行動が誘発される環境を提供することが何よりも重要になります。



### 健康を保持・増進する7つの行動

参考資料:健康経営オフィスレポート/経済産業省

# パークワークでの過ごし方

パークワークは誰もが自由に過ごせる場所です。

自分だけのお気に入りの場所を使ってもいいし、気分に合わせて場所を変えてもいい。

一人ひとりが思いのままに、赴くままに過ごせます。

### Focus

- ・ ひとりで集中作業する
- リラックスした姿勢で考えごとをする
- 広いスペースで自由に作業する …etc.

### Collaboration



- その場にいた人たちとおしゃべりする
- 自分の席では話しにくいことを相談する
- 開放的な雰囲気の中でミーティングする …etc.

### Interval



- 身体を動かして気分を上げる
- 音楽を聴いて気持ちを切り替える
- 仮眠を取って身体を休める …etc.

# ベース

個人業務の中心地

執務の中心となる場で、事務処理や

メールのチェックなど毎日行う定例業務に最適です。 個人で業務をしつつ、必要があれば周りに声をかけて 確認したり、ちょっとした相談も行えます。









# 自席の環境を自由に調節したい

仕事を行う自席の環境を自らの手で調節することを望んでいるか否かを調査したところ、「調節したい」と答える人が9割近くを占めることがわかりました。調節することによる効果を聞くと、9割を超える人が「快適性」と答え、3人に2人は「生産性向上」を期待していました。

自席の環境を調節できる ことによって期待する効果は?

自席のまわりの環境を 自由に調節したいですか?

やや そう思う **41**%

調節したい 88%

非常にそう思う

快適性 **94**%

生産性向上

出典:2004年オカムラ



# ベース

個人業務の中心地

### 「1人1席で個人のスペースを明確にわけて使える」 単体デスク





1. mode (モード) 2. SOLISTE (ソリスト)

# 「天板傾斜で最適な姿勢で働ける」チルドデスク





- 1. REGAS (リーガス)
  2. Finora (フィノラ)
  3. 上下昇降デスク用ワゴン
  - 4. Lives Shelf (ライブスシェルフ)

# 「立ち姿勢を取り入れ、健康的に働ける」上下昇降デスク





1. Swift (スイフト) 2. Choral (コーラル)

# 「くつろぎながらも働きやすい」パーソナルテーブル&ソファ





1. Lives Unit Sofa (ライブス ユニットソファ) 2. Lives Personal Table (ライブス パーソナルテーブル)

### 「人数の増減に対応しやすく、フリーアドレスに最適」ベンチデスク







1. Pro Unit Freeway ( $\mathcal{J} \Box \mathcal{I} = \mathcal{I} + \mathcal{I} \mathcal{I} - \mathcal{I} + \mathcal{I}$  2. Luce  $(\mathcal{I} - \mathcal{I} + \mathcal{I})$ 

# 「レイアウト変更をしやすい」テーブルデスク





- 1. CYNARA (シナーラ)
  2. Aption Free 2 (アプションフリー2)
  3. Lives Personal Chair (ライブスパーソナルチェア)
- 4. Lives Unit Sofa (ライブスユニットソファ)





1. Lives Work Table (ライブス ワークテーブル) 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)

# 集中エリア

没頭し専念する

速さや正確性が求められる作業をしたい時や、 誰にも邪魔されずじっくり考えに専念したい時に "籠れる場"があると嬉しい。 しっかり遮音された空間ならば、 機密情報・個人情報に関わる相談もできます。









# 個人でもチームでも集中したい

仕事に合わせて社内外の様々なスペースを利用するワーカー を対象に調査したところ、個人・チームの両方において集中作

### あなたの業務パフォーマンスを上げるために重要な活動は?











# 集中エリア

没頭し専念する

# 「周囲としっかり仕切って没頭できる」クローズタイプ





1. TELECUBE Bタイプ (テレキューブ) 1人用 2. SOLISTE (ソリスト) 3. mode (モード)





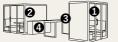
PROSSIMO (プロッシモ) 間仕切り
 GO-DO (ゴド) 吸音パネル





1. TELECUBE Aタイプ(テレキューブ)4人用

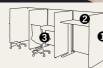




1. Snow Hut (スノーハット) 2人用 2. Snow Hut (スノーハット) 4人用 3. 4. Alt Piazza (アルトピアッツァ)

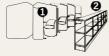
# 「周りの視線を遮り、ほどよい籠り感をつくる」オープンタイプ





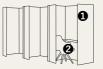
1. muffle (マッフル) 2. Swift (スイフト) 3. mode (モード)





1. co-comori (ココモリ) 2. Lives Shelf (ライブスシェルフ)





1. drape (ドレープ) 2. Lives Work Chair (ライプス ワークチェア)





- 1. Lives Personal Chair (ライブス パーソナルチェア) 2. Lives Personal Table (ライブス パーソナルテーブル)
- 3. Lives Panel (ライブス パネル)
- **2** 4. Lives Wagon (ライブス ワゴン)

23

# カフェエリア

リラックスとコミュニケーションを促す

仕事の合間のコーヒーブレイクやランチ、 くつろいだ雰囲気で作業したいワーカーに お勧めのエリアです。

偶発的な出会いが生まれやすく、 業務上では出会わないワーカー同士の コミュニケーションが始まるきっかけの場にもなります。









# インフォーマルなコミュニケーションが重要

予定していない出会いから発生する会話(インフォーマルコミュニケーション: IFC)が仕事を進める上で有効だと言われています。一般社団法人ニューオフィス推進協会の調査結果では、96.6%もの人がIFCを「重要」だと認識しています。

仕事を進める上でのIFCの重要度は?

\*\*\* 重要 35.9% **96.6**% 非常に 重要 60.7

> 出典:コミュニケーション活性化のための機器・環境研究 報告資料/一般社団法人ニューオフィス推進協会





# カフェエリア

リラックスとコミュニケーションを促す

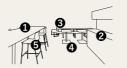
# 「オープンで気軽に立ち寄りたくなる」カウンターと、「収納として便利な」キャビネット





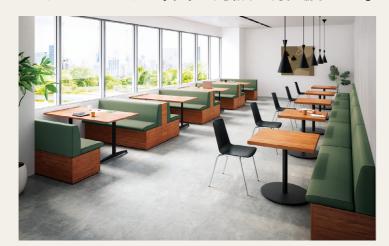
1. Lives Counter (ライブス カウンター) 2. melce (メルチェ)





1∼4. Alt Piazza (アルトピアッツァ) 5. sweep (スイープ)

# 「リラックスしてリフレッシュ。仕事にも息抜きにも使い勝手のいい」ソファ





1. Bresta (ブレスタ) 2. linkage (リンケージ) 3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)





1. Lives Unit Sofa (ライプス ユニットソファ) 2. Lives Meeting Table (ライプス ミーティングテーブル) 3. Lives Café Chair (ライプス カフェチェア)

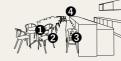
# 「居心地の良い空間づくりができる」テーブル&チェア





1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル) 2. Lunetta (ルネッタ)





- 1. Belleville Table (ベルヴィル テーブル) 2. Belleville Chair (ベルヴィル チェア)

- 4. Tip Ton (ティプ トン)





1. L401 テーブル 2. Lutz (ルッツ)





1. AltCafe (アルトカフェ) 2. linkage (リンケージ)

# ミーティングエリア

情報共有し意見を出し合う

仕事を行う上で欠かせない情報共有や意見交換に 必要なミーティングスペース。

ミーティングと言っても、役員会議といったフォーマルな ものから短時間のカジュアルなものまで様々です。 目的に合わせた効率的な会議をするためには、 立ち会議を取り入れたり、大型モニターやホワイトボード などの情報共有ツールをうまく使いこなしましょう。







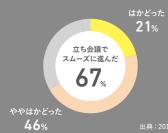




# 立ち会議で効率アップ

立ち会議室を利用するワーカーを対象に、会議のはかどり具

# 立ち会議の効果は?



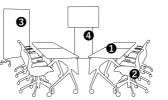












- 1. INTERACT NT (インターアクトNT)
- 2. Runa (ルナ) 3. CREBO (クレボ)
- 4. モニタースタンド



# ミーティングエリア

情報共有し意見を出し合う

# 「規模や目的に合わせて使える、自由度の高い」可動式テーブル&チェア



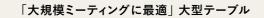


1. FLAPTOR (フラプター) 2. Runa (ルナ)



2

1. Marca (マルカ) テーブル 2. Marca (マルカ) チェア





2

1. mode (モード) 2. traverse (トラヴァース)





1. T-skill(ティースキル) 2. Lives Work Chair (ライブス ワークチェア)

# 「省スペースでのミーティングにちょうどいい」小型・中型テーブル





Lives Meeting Table (ライプス ミーティングテーブル)
 Lives Nesting Chair (ライプス ネスティングチェア)
 Lives Panel (ライプス パネル)





1. tresse-R (トレッセR) 2. simpure (シンピュア)

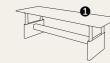
# 「立ち姿勢だからできる短時間かつ効率的なミーティング」ハイテーブル





1. Swift (スイフト) ミーティングテーブル 2. pirouetto (ピルエット)





1. Swift (スイフト) ミーティングテーブ ルワイドタイプ

MEETING

# 共創エリア

社内外の交流と創造

より良いアイデアを生み出すには自由な空気感が必要です。 社外セミナーやイベントなどの

外部コラボレーションの場としても、

研修など社内グループワークの場としても利用できます。 またイベントがない時には、

社員のタッチダウンやミーティングエリアとしても 多目的に使えます。











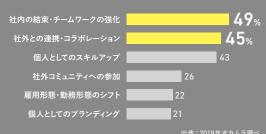




# 共創が必要と感じるワーカーが多い

「これからより良く働くために、今後どのようなことが必要にな ると思いますか?」という意識調査を実施したところ、社内の チームワークや社外コラボレーション等いわゆる他者との共

### 働くために今後必要になることは?









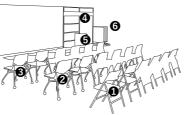




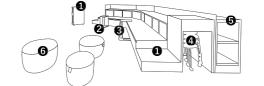




1. Lives Meeting Table (ライプス ミーティングテーブル) 2. Lives Nesting Chair (ライプス ネスティングチェア) 3. GO-DO (ゴド) ホワイトボード 4. Lives Shelf (ライブス シェルフ) 5. アクセスポール (コンセントアクセサリー) 6. Runa (ルナ)



- 1. Lives Folding Chair (ライブス フォールディングチェア) 2. Lives Nesting Chair (ライプス ネスティングチェア)
- 3. Runa (ルナ) メモ台付 4. Lives Shelf (ライブス シェルフ)
- 5. GO-DO (ゴド) 演台
- 6. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)



- 1. Bresta (ブレスタ) ステップベンチ
- 2. dock (ドック)
- 3. Alt Piazza (アルトピアッツァ)
- 4. SPRINT (スプリント) スツール
- 5. Lives Shelf (ライブスシェルフ)6. Lives Pouf (ライブスプーフ)

# 共創エリア

社内外の交流と創造

### 「すっきり収納できてレイアウトを自由に変えられる」フラップテーブル&チェア





1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル)
2. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)
3. アクセスボール (コンセントアクセサリー)

# 「立ち姿勢もとれて自由に動かせる」上下昇降テーブル

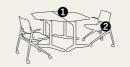


1. Stafit II(スタフィットII)

2. Part (パート)







- 1. Lives Meeting Table (ライブス ミーティングテーブル) 2. Marca (マルカ)
- 「コミュニケーションが取りやすい」スイング機構付きチェア





1. Cradle (クレイドル)

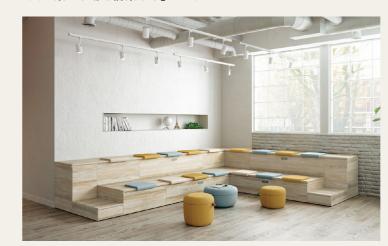
# 「アイデア記録の定番」ホワイトボード

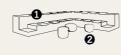




- 1. CREBO (クレボ) ホワイトボード 2. Acti@fit (アクティアフィット) ホワイトボード 3. Acti@Fellow (アクティア フェロー)
- 4. SALITRO (サリトロ)

# 「人の集える場を構築する」ステップベンチ





1. Bresta (ブレスタ) ステップベンチ 2. Lives Pouf (ライブスプーフ)

### 「作業場所への電源供給をスマートに」パワーソリューション

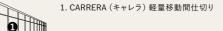




- 1. アクセスポール (コンセントアクセサリー) 2.8177テーブル
- 3. Lives Nesting Chair (ライブス ネスティングチェア)

# 「用途に応じて空間を自由に仕切れる」移動間仕切り







1. CARRERA (キャレラ) 軽量移動間仕切り

# ワークラウンジ

ゆったりと落ち着いた空間

上質感が漂う落着いた空間でくつろぎながら働くことで、 いつもとは違うコミュニケーションや発想が生まれます。









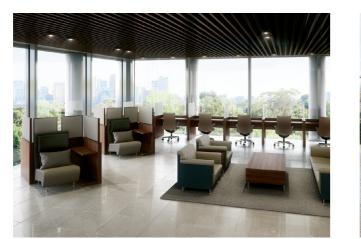


vitra (ヴィトラ)

# 「肩の力を抜いて仕事や打ち合わせができる」ラウンジ







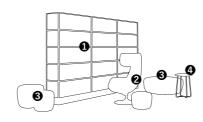
# 収納・共用エリア

個人やチームの共有物を保管する

ただ仕舞うための収納ではなく、空間の仕切りや作業台としても 使える収納にすることで空間を効率的に活用できます。









# 「個人の荷物を保管する」モバイル収納



Pixline (ピクスライン)

# 「共有物を効率良く保管する」移動棚



Sonic Saver+G (ソニックセイバー+G)

# 「身だしなみを整える」パウダールーム



Respia (レスピア)

 $\mathbf{37}$ 

# ホーム

自分の時間を大切にして働く

自宅の中でも、リビング、ダイニング、

書斎など働く場所は様々です。

普段生活する場だからこそ、ワークライフバランスを意識して、 自分らしく効率的に働ける環境が求められます。











# あなたはどこで働きたい?

「コロナ禍で自宅で仕事をしなくてはいけない」という制約がなくなっても、働く場所を選べるなら、自宅で働きたい、というワーカーもいます。

アフターコロナになった際に主に働きたい場所

自拠点のオフィス **45**% 自宅·実家 34%

> 会社契約のシェアオフィス、 自宅に近い社内の拠点、他 **21**%

> > 出典:2020年オカル









# ワークスペース





ワークルーム

1∼3. VIVANT (ヴィバン)

# ワークルーム





1. Swift Light (スイフトライト) 2. CYNARA (シナーラ)





1. Sylphy (シルフィー) 2. FALTEII (ファルテII)

ワークルーム





1. Contessa II(コンテッサセコンダ)

39

# アラウンドプレイス

オフィス以外も使って働く

従来、働く場所は「オフィス」が当たり前でしたが、 働き方が多様化しオフィス以外の選択肢が 増えつつあります。

ワーカーがこれらのワークプレイスを 目的や必要に応じて選択することで、時間や場所に とらわれない柔軟な働き方ができるようになります。

















# 増加する働く場所の選択肢

コロナ禍での在宅勤務を経験したワーカーにオフィスと自宅 以外に働く場所の選択肢は必要か聞いたところ、約7割の

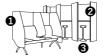
オフィスと自宅以外に働く場所の選択肢は必要か

35%



# 空港



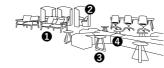


- 1. Serica (セリカ) 2. drape (ドレープ)
- 3. pirouetto (ピルエット)

# コワーキングオフィス

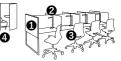


1. Shared Space (シェアードスペース)



# シェアオフィス

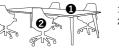




- 2. Linie (リニエ)
- 3. CYNARA (シナーラ) 4. drape (ドレープ)

# サテライトオフィス





1. Lives Work Table (ライブスワークテーブル) 2. Lives Work Chair (ライブスワークチェア)

# COORDINATE

一人ひとりが作業や目的に合った 場所を選び、のびのびと働ける。 そんな「はたらき心地」のよい空間には 個性あふれ、人間の感性を刺激するような CMFが求められているとオカムラは考えます。

ここでは空間のテーマを設け、それに合う "素材感"と"空間イメージ"を表現しています。

> CMFとはサーフェイズ(表面)を 構成する3つの要素です。

> > 赤、青、黄 などの色

木、樹脂、金属 などの素材

Finish 光沢、マット などの仕上げ



遊び心のある開放感

様々な人が集い、情報が活発に行き交うオープンな雰囲気。点在する 様々な素材や色彩が、にぎわいのある空間を演出します。



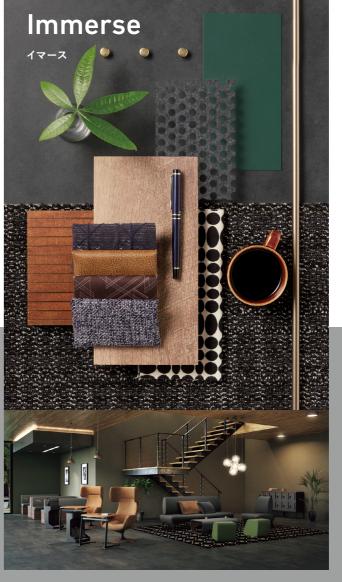
# 親しみのあるリラックス感

自然と会話が生まれやすいリラックスした雰囲気。あたたかみのある木 ます。

# 凛とした安心感

気持ちを整え、冷静に物事に向きあえる凛とした雰囲気。すっきりとし た素材と明るくやわらかな風合いが、凛とした中にも、気持ちやわら ぐ空間を演出します。





# Color Material Finish

# 集中しやすい落ち着き感

ひとりでもチームでも、腰を据えてじっくり仕事ができる雰囲気。人工的 な素材とあたたかみのある素材との組合せがクールすぎない、落ち着 きのある空間を演出します。

はたらく場をより自由に。"はたらき心地"を高めよう。





人を想い、場を創る。

# okamura

ホームページアドレス http://www.okamura.co.jp/

お問い合わせ・ご相談は お客様相談室へ フリー ダイヤル **0120-81-9060** 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

株式会社オカムラ

お問い合わせ・ご相談は、下記へ

2020年11月 発行